

市民スポーツの日の見直し

【現状】

- ・市民スポーツの日(6月・2月第3日曜日)
 - ・施設の無料開放, スケボー, スノボー体験会など
- 目的が不明確, なんとなく?

様々なスポーツに触れる機会

コンセプトの明確化

イベント感の創出

食

タコス

音楽

ラップ

障がいの有無, 性別, 年齢などに関わらず
誰でもスポーツしたくなるイベント

市主催

- ・スケボー(夏)
- ・スノーバレー(冬)
- ・施設開放
- ・オリンピック・パラリンピアン
- ・竹内智香
- ・コンサ
- ・日ハム

パラ協主催

チャレンジタイム
各種スポーツ

(仮)
Asahikawa
スポーツ
フェス

推進委員会主催

フロアカーリング, レクボッチャなど体験会

各団体主催

ヴォレアス, フォレストウイングス, ビースターズ等

市民スポーツの日の見直し

一過性のイベントで終わらず、継続的に実施することで
スポーツに取り組む市民の増加

将来像

障がいの有無，性別，年齢などに関わらず
誰もがスポーツを楽しむまちへ

アスリート，プロ
スポーツチーム
等との連携強化

パラスポーツ協
議会との連携強
化

スポーツを通じ
た健康増進，
観光振興

スポーツしにくい
要因の除去

オリンピック・パ
ラリンピック等世
界レベルの大会
誘致

公約23

世界に通用する
障がい者スポー
ツのメッカに

公約26

ナショナルトレ
ニングセンターの
誘致

公約27

ウインタースポー
ツを通じた冬の魅
力発信

バリアフリー社会
の実現